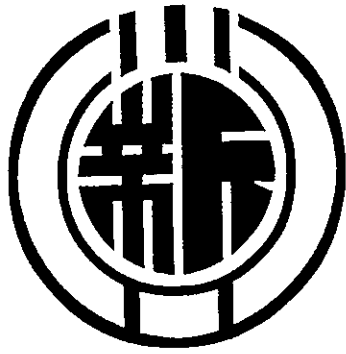


'02 MAY 58



川口新郷工業団地協同組合 SHINKOUNEWS



平成十四年五月二四日午後四時より第三三期通常総会を開催。

平成十三年度事業・決算報告、平成十四年度事業計画・収支予算案等が提出され、執行担当役員よりそれぞれ説明、出席組合員全員の承認を得て原案通り全て可決されました。

今年度の組合重点事業は次のとおりです。

◎重点事業

一・配電線設備更新

おおもとの変電所は、平成十一年に皆様のご賛同の下、最新式・高性能かつ大幅にダウンサイジングされ更新いたしました。捻出された遊休土地を組合員向け駐車場として利用しております。

これにより変電所自体の不具合による停電事故がなくなり、安全で安定した電気供給を行うことが実現できました。しかし、組合員の皆様への配電線設備（配電線・取付金具等）は、大部分は共同受配電事業開始時のままであるため、老朽化が懸念されておりました。

ただ、変電所更新費用の大部分は、借入金により賄ったばかりであり、現状、新たな借入が困難な状況となっております。

そこで、皆様からお預かりしている「活性化積立金」および「電気料金預り金」を、今回の工事代金に活用させていただくことをご提案させていただいたところ、皆様の同意を得る事が出来ました。これで、確かな電気供給の体制固めとなります！

極力、組合員皆様の業務に支障ないよう工事を進めたいと思います。なにとぞご理解・ご協力をお願いいたします。

二・環境整備と保全

当工業団地は、高速道路が中央に走る立地条件に恵まれ都心に直結した類まれなる「工業専用地域」です。この価値ある地の利を守るためには、隣接している地域社会との調和を図ることが肝要といえます。そのためには、緩衝緑地帯の整備と団地内美化が必要です。

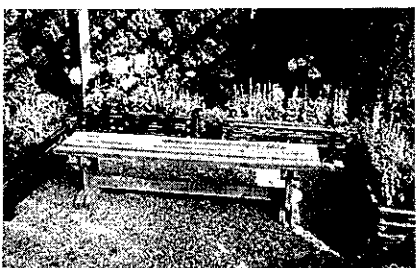
川口市による三か年に亘る緩衝緑地帯の整備が今年度終了する予定です。

これを機に、さらに一層の緩衝緑地帯の除草・清掃を図りたいと考えております。

組合員皆様におかれましても、いっそうの工場・事務所周りの清掃及び美化を宜しくお願いいたします。

また、団地内美化として「新工会館前」と「時計塔周辺小公園」の二カ所に、川口市の補助をうけ草花の植栽を年三回実施してあります。

付近をお立ち寄りの際には、足を止めご鑑賞ください。



三、電気料金引き下げの継続

電気料金引き下げの創意・工夫及び要請を実施していきたい。

四、新規事業の調査研究と増収対策の推進

組合運営の安定化と、組合員の便宜を図るための収益事業の調査研究を行う。

五、中小企業存続のため、組合としての要望を行政へ提言

日本の基幹産業である「ものづくり」を支える中小企業存続のために、さらなる自助努力と共に、行政の改革とも強調させるために、協同組合として、政治の場へも強く要望していきたい。

次に各委員会の今年度活動概略を報告いたします。

総務委員会

- (1) 教育情報事業
組合員さんに有益な研修会・講演会等の開催、新工ニュース（年三回）・新工ミニニュース（随時）の発行による情報提供を行います。
- (2) 視察・親睦旅行の実施
組合収支、設備投資の関係から例年予算額より減少してはいますが、一年一度の組合全体での工業団地外での懇親の場でもあることから、楽しめる企画を行いたいと思っております。是非ご参加ください。
- (3) 新春祝賀会
例年どおり、一月下旬に行う予定です。

電力委員会

- (1) 変電所設備の堅実なる維持運営
特に、今年度は配電線設備の取替工事に全力で取り組みます。
- (2) 組合員さんへのお願い
・東京電力㈱との契約電力に関し、一時的なピーク電力は超過傾向にあるので、電気需要逼迫時には省エネルギーに対するご理解とご協力をお願いいたします。

事業委員会

- (1) 業務事業
・共同駐車場
首都高速道路下C、D、Eの駐車場につきましては空きがあまりありません。
 - ・高速道路通行料金別納制度
ご利用料金額に応じての割引となっております。
 - ・ガソリン等販売の斡旋
団地内の川口トラック協同組合を委託先としております。
 - ・車検整備の斡旋
川口自動車整備協業組合を委託先としております。
 - ・二階会議室の貸し出し
有料にて、組合員・組合員以外の方に貸出しております。
- お申出の節は事前に事務局へご連絡ください。

開発委員会

- (1) 組合ホームページの活用、掲示内容の適宜更新
 - (2) 首都高速道路下駐車場の有効活用を図る。
- その他組合員、組合にとって有益な事業の開発を図ります。

第二回坂東札所めぐり

天候に恵まれ春うらかな日差しを受けながら、房総七ヶ寺の参詣を目的に第二回坂東札所めぐりを三月九、十日の一泊二日で行う。

観光とは違う観音霊場への参詣が目的なので、出発は少し早めの朝七時。今回初参加のお二人も厳肅な中にも楽しさが見うけられた。

初めに向うは利根川水郷沿いに在る滑河山龍正院。成田空港が近いので、外国からの巡礼・参詣人が最初に訪れるとのこと、納経の軸や諸々のパンフレットが常に用意されていた。



利根川水郷ラインを眺めながら、銚子の飯沼山田福寺へ。銚子魚港に程近い場所にある飯沼山田福寺の住職は川口出身とのこと、お会い出来ることを期待していたが、参拝人が多いのと次の寺への移動の時間が気になり、参拝が終りしだい昼食の場所へ。昼食もそこそこに、次は大悲山笠森寺へ、ここは茂原市から木更津に向う途中の山中にあり、参拝時間は午後四時で終了してしまうので、とにかく銚子から休憩を取らずに一挙に走りぬき、僅かの余裕を

残し到着。

大悲山笠森寺を参詣。明日の事を考えると次の音羽山清水寺まで足を延ばしお参りしておきたいが、納経時間には間に合わないと考え養老溪谷の宿泊先へ。温泉に浸り、質素な宴も和気藹々と進み、明日への長距離移動に對しての、英気を養った。

二日目も好天に恵まれたが、四カ寺をお参りする中で、出発を早くしたいところ、朝食の時間と納経時間の兼ね合いから八時出発。山の中にある音羽山清水寺を参拝。直ちに南下して、房総半島突端の館山へ。

館山に在る補陀洛山那古寺は当日が午年ご開帳の初日にあたり、観世音菩薩を拜見できた。那古寺を出たときには大幅に予定時間を過ぎていたので、最後まで参拝できずかと心配だったが、木更津での昼食場所についた時にバス運転手にこの裏手に次の札所の平野山高蔵寺があると聞きホット一息、美味しい昼食をいただく。

昼食後、平野山高蔵寺を参拝。そして最後の千葉市にある海上山千葉寺を参拝。房総一周の長距離行程を予定通り無事七ヶ寺の札所をお参りすることができた。(大槻・石田)

Aブロックだより

来る六月二十二日〜二十四日に総会と親睦旅行をかねて、自然の豊かな東洋のガラパゴス「奄美大島」旅行を致します。参加者として十一名を予定。

- 〔日程〕
- 一日目 マングローブ↓高知山展望台↓ホノホシ海岸↓ヤドリ浜
 - 宿泊先 マリンリゾート コーラルパームス
 - 二日目 加計呂麻島↓諸鈍ティゴ並木↓島尾文学碑↓寅さんロケ地↓瀬相港↓古仁屋港半潜水船「せと」
 - 宿泊先 ホテルサンブラザ
 - 三日目 奄美自然観察の森↓西郷南州舘跡↓ソテツ群生地↓奄美大島紬村↓蒲生公園↓笠利崎↓あやまる岬を予定しています。

「奄美大島」について

故郷「奄美大島」は鹿児島から南へ約380kmの大島本島と約560kmの与論島に至るまでおよそ1800kmの間に点在する大小8つの島からなっております。

皆様は奄美と言えば何を連想されますか？

美しい海と白砂の浜辺、ルスカケスや黒うさぎ、長寿の島、風光明媚な珊瑚礁の島、台風の襲来する島、長い抑圧の悲しい歴史を持つ民族の島……等

いずれも奄美と言い当てていると思えますが、奄美を語る時私が一番力説

連絡ください。

(収容人員100人位まで)

- ・その他
郵便切手(各種ハガキを含む)、収入印紙類、タバコ、中元・歳暮用日本ハム製品の斡旋など組合では以上の事業を行っております。

未加入・未利用の組合員さん どうぞご利用ください。

- (2) 集団健康診断
例年どおり新工会館内で実施。
十月 一日 一般検診
十月 八日 胃検診
- (3) 諸競技会等の実施
・ボーリング大会
・ソフトボール大会
・坂東三三カ寺札所めぐり

黒糖は奄美の人民が生産したものの奄美人民にとってはこれが受難の種となり島津藩にとっては金山に等しいものとなったのであります。明治維新に島津藩があれだけの力を発揮できたのも黒糖のたまものと言われております。

☆八月には、暑氣払いを兼ねて懇親会を予定しております。

「Aブロック長」
石川金属機工㈱ 石川義明

したいのは、苦衷と忍従を強いられ続けた長い歴史を振り返らなければならぬと言ふことでもあります。

一つは十三世紀後半から三世紀にわたる琉球服属時代。二つ目は一六〇九年以降二六〇年余の間薩摩島津藩の過酷な圧制政治の下で苦しめられ、痛みつけられ搾取された薩摩藩圧制時代。三つ目は全くの異民族である米軍施設下時代でございます。

中でも島津藩は奄美からの収奪の限りを尽くし奄美人の多くを餓死させ、砂糖奴隷にしました。島津藩は奄美を海外渡航の要衝として活用するだけでなく、米の生産を止めさせ黒糖生産だけを強制的に行わせたのであります。

黒糖は島津藩の財源として一番貴重なものであり、有名な木曾川工事のときには、上方商人の担保として奄美の黒糖が使われており、生産地の徳島では三千人の餓死者まで出すという徹底した収奪を行ったと記録されております。

(里氏 談)

日本三大祭シリーズ①

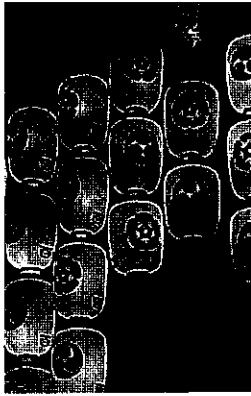
祇園祭

祇園祭は京都市東山区の八坂神社の例大祭で、その最初は貞観十一年「八六九年」京の町に蔓延していた疾病を鎮めるために、卜部目良麿が当時の国の数に準じて神泉苑に六十六本の鉾を立て牛頭天王「ござてん」に祭ったのが始まりと伝えられている。

年中行事として盛んに行われるようになったのは天録元年「九七〇年」からで、その後さまざまな諸芸能の要素が加わり、室町時代にはつくり山、鷲鉾、曲舞車などの豪華な練り物が出るようになり、京の人々の目を樂しませる祭りとなった。

祇園祭の代名詞、宵山と山鉾巡行の形式が整備されたのは江戸時代に入ってからである。

七月十六日に行われる宵山は、前日十五日の宵々山で引き初めをした山鉾に駒形提灯を飾って山鉾町を個別に練り歩く行事。



夕方には山鉾町一帯は歩行者天国となり多くの人で賑わう。この時有名な「コンチキチン」と祇園囃子が奏でられる。

この祇園囃子は室町時代末期に能楽の影響を受けて作られ、江戸時代に現在の「やしになつた」と言われている。

鉦・太鼓・笛の三つの楽器で奏でられる囃子の曲目は三十程あり、多くはそれぞれ山鉾独特の囃子となっている。



合わせて、引き手が力一杯綱を引き十数メートルある鉾を回転させる。勢いよく回すと見物客から大きな歓声があがる。

毎年多くの見物客が訪れる祇園祭

だが、一般に祇園祭と言うと、この宵山と山鉾巡行を指すと思われがちだ。しかし、実は七月一日の「吉符入り」から七月三十一日の「夏越祭」までの約一ヶ月の間に行われる行事総てが祇園祭で、宵山や山鉾巡行は実は祭の一つの神事にすぎないとされている。

そもそも祇園祭のメインは神輿で、山鉾は主役の前を行く露払い的な役割だという。

しかし、盆地という地形の為、ただでさえ暑い夏の京都に更に熱気を与える宵山と山鉾巡行は、やはり古都の夏を代表する風物詩と言えるだろう。

(或る書より)

*日本三大祭と言ったら、色々あると思いますが、ごく一般的なものを挙げました。

次回は、岐阜の「高山祭」を掲載いたします。

十四年度(予定)組合活動

平成十四年

五月二四日(金)

第三三期通常総会

六月

春季合同清掃

ソフトボール大会開会

七月三日(水)

外国人研修生出入国

七月二十日(土)

第三回坂東札所巡り

八月

(群馬県方面) ボーリング大会

九月

第一回合同ブロック会議

十月

定期健康診断

十一月

一日(火) 一般検診

八日(火) 胃検診

十一月

秋季合同清掃

十一月

視察・親睦旅行

平成十五年

一月 新春祝賀会

二月

第二回合同ブロック会議